

(令和元年度事業対象)

熊取町教育委員会



凡例

◇本文中の（ ）内以示す回数及び参加者人数などの表記は年度内での実績とした。

◇本文中の*の用語説明は、「資料編 用語説明」に掲載した。

◇記述に当たり、次の名称について略称を用いた。

大阪観光大学	観光大学
大阪体育大学	大体大
関西医療大学	医療大学
京都大学複合原子力科学研究所	京大研究所
熊取町教育委員会	町教委
熊取町立全小学校、中学校	全小・中学校
熊取町立中央小学校	中央小
熊取町立北小学校	北小
熊取町立西小学校	西小
熊取町立南小学校	南小
熊取町立東小学校	東小
熊取町立熊取中学校	熊中
熊取町立熊取北中学校	北中
熊取町立熊取南中学校	南中
民生委員児童委員協議会	民児協

目 次

I. はじめに

熊取町における教育の目標.....	1
熊取町教育委員会活動の点検・評価概要	2
施策の体系	3

II. 施策の取組状況

新規・拡充の取組	4
【学校教育】	
(1) 学校施設のトイレの洋式化整備	5
(2) 教育 ICT 環境の整備	7
【社会教育】	
(1) 分野のクロスオーバー	8
主な取組.....	9
【学校教育】	
1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上	
① 外国青年英語指導助手招致事業.....	10
② 学校図書館司書の配置	11
③ 学習支援ボランティア事業.....	11
④ インターンシップ.....	12
2. 教職員の資質・能力の向上	
① 校内研修	13
② 初任者研修.....	13
③ 10年経験者研修.....	14
④ 中堅教員自主研修.....	14
3. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成	
① 熊取町人権教育研究協議会への支援.....	16
② 熊取町在日外国人教育研究協議会への支援.....	16
③ 人権作品集発行.....	17
④ 支援教育担当者会.....	18
⑤ 介助員配置.....	18
4. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成	
① 児童相談事業.....	20
② スクールカウンセラー配置事業.....	20
③ スクールソーシャルワーカー活用事業	21
5. 児童生徒の安全確保	
① 学校防犯システム.....	22
② 安全・安心なまちづくり事業.....	22
③ 大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業.....	23
④ 危機管理マニュアルの点検・見直し.....	23
6. 教育環境や条件の整備	
① 就学に関する支援.....	24
② 学校施設整備の充実	25
③ 給食事業の充実.....	25

【社会教育】

1.生涯学習の推進

①学習機会の提供.....	27
②学習環境の整備.....	28
③自主活動の支援.....	29
④地域連携の推進.....	30
⑤推進体制の整備.....	32

2.文化・芸術の振興と充実

①学習機会の提供.....	34
②学習環境の整備.....	35
③自主活動の支援.....	37
④地域連携の推進.....	38
⑤推進体制の整備.....	39

3.生涯スポーツの推進

①学習機会の提供.....	40
②学習環境の整備.....	41
③自主活動の支援.....	42
④地域連携の推進.....	42
⑤推進体制の整備.....	44

4.図書館サービスの充実

①学習機会の提供.....	45
②学習環境の整備.....	46
③子どもの読書環境の整備.....	47
④自主活動の支援.....	49
⑤地域連携の推進.....	49
⑥推進体制の整備.....	50

Ⅲ. 教育委員会の組織・活動状況

教育委員会の組織.....	51
教育委員会の活動状況.....	52

資料編 用語説明

.....	56
-------	----

学識経験者の知見の活用

熊取町教育委員会活動の点検及び評価（令和元年度事業対象）に対する意見書.....	59
--	----

1. はじめに

熊取町における教育の目標

○「熊取の学びはどうあるべきか」「熊取の子どもをどのように育むか」など、将来を見据えた教育のあり方が問われるなか、自立した人として、理想を実現しようとする高い志や意欲をもって、主体的に学びに向かい、自分の個性や能力を伸ばし、望む分野で積極的に挑戦し人生を切り拓いていく子どもを育てること。

○「住みたい 住んでよかった ともにつくる”やすらぎ”と”ほほえみ”のまち」をまちの将来像に策定した熊取町第4次総合計画（平成30年～令和9年）の「たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちづくり」の理念を実現すべく、どのような時代にあっても、力強く、“凛として、そして、自立した一人の人間”として、心豊かにたくましく生き抜くことのできる人材の育成に取り組むこと。

熊取町教育委員会活動の点検・評価概要

➤ 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、熊取町教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことで効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進することを目的としています。

➤ 点検・評価の対象

本町における教育、学術及び文化の振興のための施策に関する基本的な計画である「熊取町教育大綱（平成27年6月策定）」の施策に基づき、熊取町教育委員会が熊取町の教育行政が目指すべき将来像の実現のために具体的取組を定めた「令和元年度熊取町教育方針」の取組及び教育委員会に属する主要な事務事業の執行状況を点検・評価の対象としています。

➤ 学識経験者の知見活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、点検・評価の実施及び報告書の作成に当たり、熊取町評価委員会委員からご指導、ご助言をいただきました。

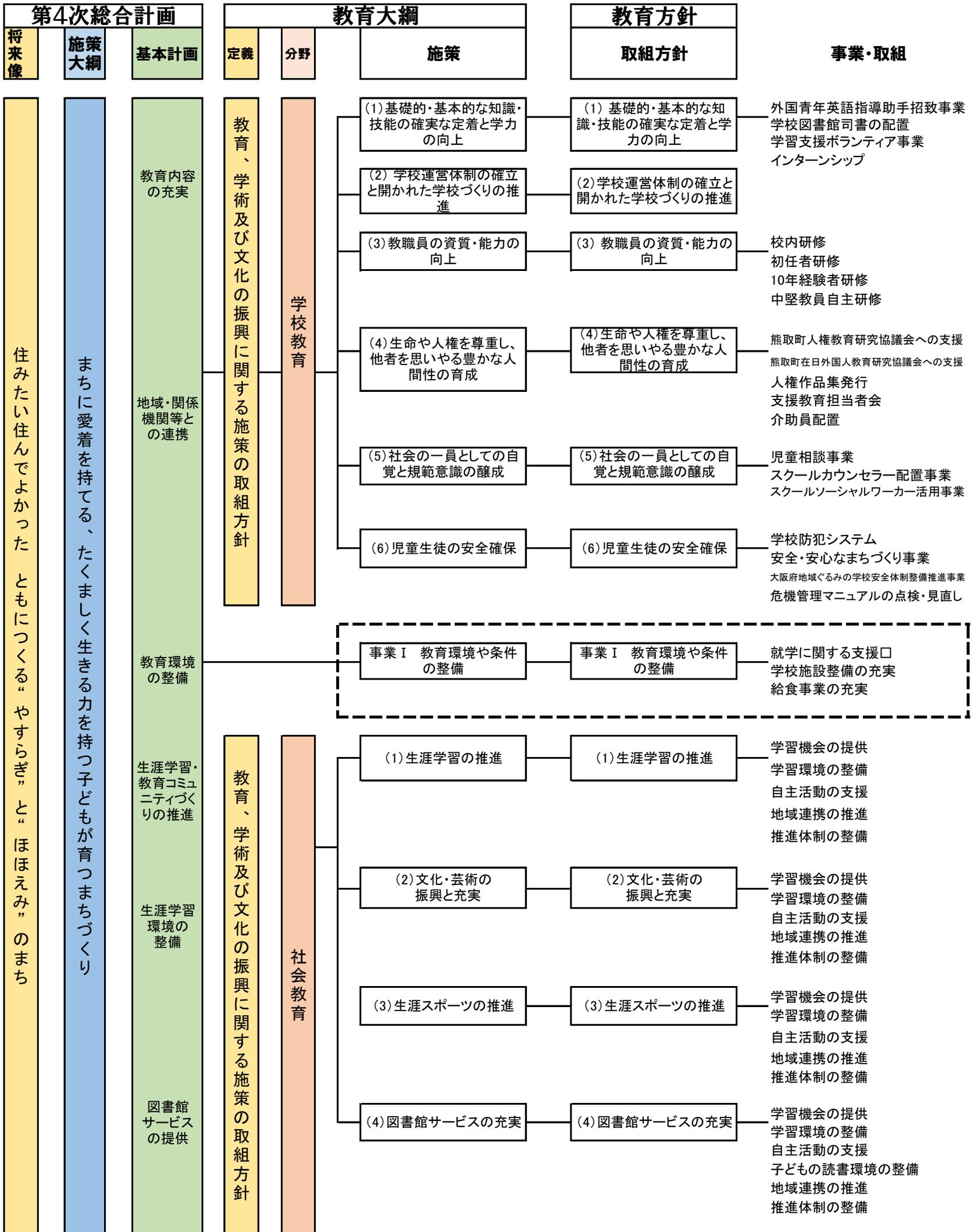
- ・大野 廣介氏（元熊取町立学校長）
- ・岸本 敬仁氏（熊取町スポーツ推進委員）

➤ 報告書の構成

本報告書は令和元年度に新規・拡充した取組、教育方針教育行政の主な取組、及び主な事業の点検・評価、教育委員会の活動状況で構成しています。

施策の体系

点検評価項目



※図の点線内部分は教育大綱、教育方針に含まれませんが、総合計画に基づき点検・評価の対象とする事業であることを示しています。

2. 施策の取組状況

●●● 新規・拡充の取組 ●●●

● 学校教育

(1) 学校施設のトイレの洋式化整備

小学校の老朽化したトイレを洋式化整備。

(2) 教育 I C T 環境の配備

- ①教職員が校務に使用するパソコンの1人1台配置に向けた整備。
- ②各小中学校のコンピュータ教室の機器等の更新。

● 社会教育

(1) 分野のクロスオーバー

第4次生涯学習推進計画に掲げる特色ある取組み。

新規・拡充の取組（学校教育）

(1) 学校施設のトイレの洋式化整備

担当部局：学校教育課

◆ 取組概要

各小中学校の老朽化したトイレについて、国の交付金を活用して、洋式化整備を行い、快適な学習環境の整備を行う。

令和元年度には、中央小学校の前年度からの残部分、西小学校・北小学校の全部、南小学校の一部のトイレ洋式化改修工事を完了した。

◆ 取組結果

	現状（R1当初）								
	男子		女子		多目的		全体		洋式化率
	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	
中央小	9	3	15	12	1	2	25	17	40.5%
西小	20	2	43	2	0	1	63	5	7.4%
南小	11	4	31	7	0	2	42	13	23.6%
北小	14	6	34	6	0	0	48	12	20.0%
東小	18	1	35	1	0	4	53	6	10.2%
熊中	13	6	30	13	0	1	43	20	31.7%
北中	13	7	30	8	0	3	43	18	29.5%
南中	14	3	33	0	0	3	47	6	11.3%
全体	112	32	251	49	1	16	364	97	21.0%

改修後									
	男子		女子		多目的		全体		洋式化率
	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	
中央小	5	7	5	21	0	3	10	31	75.7%
西小	7	15	8	34	0	1	15	50	77.0%
南小	8	7	10	21	0	2	18	30	62.5%
北小	6	13	8	24	0	1	14	38	73.1%
東小	18	1	35	1	0	4	53	6	10.2%
熊中	13	6	30	13	0	1	43	20	31.7%
北中	13	7	30	8	0	3	43	18	29.5%
南中	14	3	33	0	0	3	47	6	11.3%
全体	84	59	159	122	0	18	243	199	45.0%

◆ 今後の課題・方向性

小中学校のトイレについて、国の交付金等、財源確保に努め、早期に洋式化整備を完了する。

◆ 決算額（単位：千円）

事業名	H30	R1
小学校維持管理事業（臨時）設計委託料	2,257	10,746
小学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	23,502	253,401

新規・拡充の取組（学校教育）

(2) 教育 ICT 環境の整備

- ①校務用（教職員用）パソコンの追加配備
- ②コンピュータ教室の機器更新等の実施

担当部局：学校教育課

◆ 取組概要

- ① 教職員が校務に使用するパソコンについては、教職員数に対し約50%の整備率に留まっているため、平成30年度の学校 ICT 整備の方針に基づいて、1人1台の整備に向けて計画的に増設していく。
- ② 各小中学校のコンピュータ教室について、リース期間の満了及び小学校におけるプログラミング教育の導入等に対応するため、機器等の更新を行う。

◆ 取組結果

- ① 令和元年度中に増設を行った結果、前年度は約75%の整備率であったものが、本年度末において100%の整備率となった。
- ② 小学校における児童用端末の増設と小中学校ともにタブレット端末の導入を前提とした機器の更新を行うとともに、ネットワークのセンターサーバ化を行い、令和2年度から運用することとなった。

◆ 今後の課題・方向性

令和元年度においては、昨年度に引き続き校務用パソコンの増設を実施し、年度末において教職員数に対し100%の整備となった。また、その他の学校 ICT 機器の整備については、国の「GIGA スクール構想」も踏まえつつ活用を行い、また、計画的な導入・更新を進めていく。

校務用（教職員用）パソコン配備数（単位：台）

	中央小	西小	南小	北小	東小	熊中	熊北中	熊南中	合計
H30 年度末配備数	24	19	18	25	24	27	21	27	185
R 1 年度配備数	8	9	6	8	6	8	4	7	56
計（全対象数）	32	28	24	33	30	35	25	34	241

コンピュータ教室端末配備数（単位：台）

	中央小	西小	南小	北小	東小	熊中	熊北中	熊南中	合計
H30 年度末配備数	20	20	20	20	20	40	40	40	220
R 1 年度末配備数	40	40	40	40	40	40	40	40	320

◆ 決算額（単位：千円）

事業名	整備台数	決算額
小学校運営事業（臨時）	37 台	4,881
中学校運営事業（臨時）	19 台	2,506

新規の取組（社会教育）

(1) 分野のクロスオーバー

担当部局：生涯学習推進課

◆ 取組概要

生涯学習推進課が実施する講座において、図書館司書が選んだ講座テーマに合った書籍を借用、講座実施日に展示・閲覧を行い、第4次生涯学習推進計画における特色ある取組みである「分野のクロスオーバー」に取り組んだ。

◆ 取組結果

連続講座である「はつらつ世代講座」及び「家族ふれ愛講座」において、各回のテーマに合った書籍（延べ248冊）を図書館から借用・展示することにより、受講生が講座終了後も学習意欲を継続できるよう取り組むことができた。

◆ 今後の課題・方向性

第4次生涯学習推進計画の4分野（生涯学習、文化芸術、運動・スポーツ、図書館）がそれぞれの特色を生かしつつ、クロスオーバーを行い、よりより学習環境を提供を行うことができるよう取組みを進める。

◆ 決算額（単位：千円）

新規の取組に要した経費はありません。

●●●● 主な取組 ●●●●

● 学校教育

I. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上

- ①外国青年英語指導助手招致事業
- ②学校図書館司書の配置
- ③学習支援ボランティア事業
- ④インターンシップ

II. 教職員の資質・能力の向上

- ①校内研修
- ②初任者研修
- ③10年経験者研修
- ④中堅教員自主研修

III. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

- ①熊取町人権教育研究協議会への支援
- ②熊取町在日外国人教育研究協議会への支援
- ③人権作品集発行
- ④支援教育担当者会
- ⑤介助員配置

IV. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成

- ①児童相談事業
- ②スクールカウンセラー配置事業
- ③スクールソーシャルワーカー活用事業

V. 児童生徒の安全確保

- ①学校防犯システム
- ②安全・安心なまちづくり事業
- ③大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備事業

- ④危機管理マニュアルの点検・見直し

VI. 教育環境や条件の整備

- ①就学に関する支援
- ②学校施設整備の充実
- ③給食事業の充実

● 社会教育

I. 生涯学習の推進

- ①学習機会の提供
- ②学習環境の整備
- ③自主活動の支援
- ④地域連携の推進
- ⑤推進体制の整備

II. 文化・芸術の振興と充実

- ①学習機会の提供
- ②学習環境の整備
- ③自主活動の支援
- ④地域連携の推進
- ⑤推進体制の整備

III. 生涯スポーツの推進

- ①学習機会の提供
- ②学習環境の整備
- ③自主活動の支援
- ④地域連携の推進
- ⑤推進体制の整備

IV. 図書館サービスの充実

- ①学習機会の提供
- ②学習環境の整備
- ③子どもの読書環境の整備
- ④自主活動の支援
- ⑤地域連携の推進
- ⑥推進体制の整備

1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上

教育方針目標

学習指導要領等を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。

また、個に応じた教育を一層推進し、児童生徒が成就感、達成感を味わい、自尊感情を高めることを通して、豊かな感性や情操を涵養し、一人ひとりの個性を伸ばすことができるよう教育方法を工夫する。

①外国青年英語指導助手招致事業

■ 取組概要

児童生徒に生きた英語や外国文化に触れる機会の充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成および英語力向上をめざすため、外国人英語指導助手（ALT）6名（小学校：3名、中学校：3名）を各小学校に週3日、各中学校に週5日配置した。

また、ALTの指導力向上のため、毎月ALT会議を開催するとともに、夏季休業中には、ALTが企画運営したくまもり英語村を実施した。

■ 取組結果

●ALTは、小学校では担任、中学校では英語教員とともに授業を行い、英語で授業を進めたり、子ども同士等で英語でやりとりする場面を多く設けたりしているため、子どもたちは意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしていた。

●くまもり英語村には、小学校1・2年生48名、小学校3・4年生30名が参加し、子どもたちは、ゲーム等で楽しみながら学んだ英語を使おうとしていた。実施後のアンケートでは、8割の児童が「また参加したい」「楽しかった」と回答していた。

■ 今後の課題・方向性

自分の考えや意見を英語で表現したり、やりとりしたりできる力の育成をめざし、公開授業や研修を通して、ALTとの効果的なチームティーチングについて研究を進めていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
外国青年英語指導助手招致事業	20,086	22,763	22,971

②学校図書館司書の配置

取組概要

- 町立全小中学校の学校図書館に、学校図書館司書を引き続き配置した。
- 学校図書館司書等による読み聞かせ活動を行った。
- 学校図書館を利用した調べ学習等において、学校図書館司書を活用して書籍・資料の収集を迅速に行った。

取組結果

- 学校図書館司書配置により、児童生徒が本に触れる機会を安定的に確保し、読書活動の推進に努めることができた。
- 読み聞かせ等の活動を行うことで、本の面白さを知り、読書習慣の醸成を図ることができた。
- 学校図書館司書の専門知識を活用することで、教員と相談しながらより広範囲かつ的確に、調べ学習等に必要な書籍・資料をそろえることができた。
- 司書教諭等と連携し、学習指導の充実を図ることができた。

今後の課題・方向性

- 今後も学校図書館司書の安定的・継続的確保に努める。
- 司書教諭との連携のもと、児童生徒の読書機会を増やすための取組みを引き続き実施する。
- 教員との連携のもと、調べ学習をいかした学習指導のさらなる充実に努める。

決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
小学校運営事業 図書館司書臨時雇賃金	6,783	6,707	6,708
中学校運営事業 図書館司書臨時雇賃金	2,944	3,293	2,722

③学習支援ボランティア*事業

取組概要

- 各小中学校に学習支援ボランティアを派遣し、児童生徒の個に応じたきめ細かな指導・支援を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、地域に開かれた学校づくり、地域の良さを活かした特色ある学校づくりを推進した。
- 町内大学では、学生対象にガイダンスを行い、学生の確保および質の向上に努めた。

取組結果

- 事前にガイダンスを行ったため、大学生はボランティアの趣旨や活動内容を正しく理解した上で、活動を行うことができた。
- 大学生のボランティアのほとんどが教員志望であり、管理職や教職員から良好な評価を得ることができた。
- ボランティアによる授業補助や休憩時間等での関わりが、児童生徒の基礎学力の定

着や意欲の向上に効果をあげることができた。

■ **今後の課題・方向性**

今後も引き続き、町内大学でのガイダンス等を実施し、より多くの人材を確保に努める。

■ **決算額（単位：千円）**

事業名	H29	H30	R1
学習支援ボランティア派遣事業	912	749	737

④インターンシップ*

■ **取組概要**

大阪体育大学教育学部から2年生29名、体育学部から3年生16名を、学校インターンシップ生として各小中学校で受け入れ、学校現場での実習に協力した。

■ **取組結果**

インターンシップ終了後に、学習支援ボランティアとして引き続き活動を行う学生が複数人いたため、通年で児童生徒支援に協力してもらうことができた。

■ **今後の課題・方向性**

今後も引き続き、大阪体育大学や小中学校の意見や要望等を丁寧に聞き取り、大学と学校との橋渡し役として、インターンシップ受け入れに協力していく。

■ **決算額（単位：千円）**

予算は伴わない。

2. 教職員の資質・能力の向上

教育方針目標

教職員としての責務を自覚し、町民の信頼に応えられるよう、児童生徒に敬愛される豊かな人間性を培うとともに、社会の変化に対応できるよう組織的・継続的に教職員研修を実施し、知識・技能や資質・能力などの向上を図る。

①校内研修

■ 取組概要

- 校内研修の体制整備等に対する指導・助言を行った。
- 各校の校内研修（18回）において指導・助言を行った。
- 各校の課題に対する研修において、講師謝礼等の支援を行った。
- 校外研修参加に対する支援を行った。

■ 取組結果

- 校内研修の充実、校内研修体制の整備を図ることができた。
- 新学習指導要領等をふまえた指導・助言を行うことにより、知識・技能や資質・能力の向上を図ることができた。
- 専門家による校内研修の実施により、各校の課題に対する知識・技能や資質・能力の向上を図ることができた。
- 校外研修で得た知識・技能等を校内研修で広め、知識・技能の習得を図ることができた。

■ 今後の課題・方向性

学校教育目標を達成できるよう、校内研修の持ち方等について、指導・助言を行っていく。

教職員全体の資質・能力の向上を図るよう、引き続き校内研修に対して指導・助言及び講師謝礼等の支援を行っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
教職員研修事業	727	758	715

②初任者研修

■ 取組概要

初任者（7名）及び2年目（7名）の教員に対する研修の企画、実施及び授業等への指導・助言を行った。

- 町主催初任者研修（3回）の実施
- 泉南地区初任者研修（6回）の実施
- 初任者の研究授業（全13回）に対する指導・助言
- 2年目教員社会体験研修（3事業所・各2日間）の実施
- 2年目教員の研究授業（全7回）に対する指導・助言
- 初任者指導教員連絡会（3回）の実施

■ 取組結果

- 研修や研究授業の実施等により、知識・技能の習得を図ることができた。
- 初任者指導教員連絡会により、各校における初任者研修の充実、校内体制の構築を図ることができた。

■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、課題やニーズに合わせて研修内容の充実を図り、初任者等の資質向上を図る。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

③ 10年経験者研修

■ 取組概要

10年経験者（1名）の教員に対する研修の企画、実施及び授業等への指導・助言を行った。

- 町主催10年経験者研修（3回：内2回は初任者研修と合同開催）の実施

■ 取組結果

初任者との合同研修の実施等により、ミドルリーダー*としての資質・能力の向上を図ることができた。

■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、課題やニーズに合わせて研修内容の充実を図り、中堅教員としての資質向上を図る。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

④ 中堅教員自主研修

■ 取組概要

中堅教員に対して、指導主事等が講師となり、6月に3回シリーズで研修を実施した。内容は、「教育課程*」「大阪府教育施策」「働き方改革」で行い、管理職として備えていくべき知識や考え方を身に付けることを目的としている。小学校教員1名、中学校教員3名が参加した。

■ **取組結果**

- 参加者は、研修で学んだ内容をいかし、学校運営に積極的に関わった。
- 参加者のうち1名が翌年首席*となった。

■ **今後の課題・方向性**

今後も引き続き、中堅教員研修を実施し、管理職確保に努めていく。

■ **決算額（単位：千円）**

予算は伴わない。

3. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

教育方針目標

自他の人権を尊重しながら、主体的に行動できる児童生徒を育成するため、各学校の課題や実態に応じた特色ある人権教育を、全校的な体制のもと推進する。

また、道徳教育等の充実を通して、人間尊重の精神と生命及び自然を尊重する精神、自らを律し他人を思いやる心、公共の精神を育み、郷土や国を愛するとともに、国際社会の平和と発展に貢献する態度を養うことなど、豊かな人間性をはぐくむ取組みを進める。

①熊取町人権教育研究協議会への支援

■ **取組概要**

- 熊取町人権教育研究協議会に対し補助金を交付した。
- 総会、夏季講演会、報告集会へ参加した。
- 運営委員会（1回）・合同委員会（1回）へ出席し、情報提供、指導・助言を行った。

■ **取組結果**

- 全5部会（各6回）で研究を進めながら、組織的な体制のもと人権教育を推進することができた。
- 研修会（3回）、研究授業（3回）を実施し、教職員が主体的に各部会の課題に沿って研究を進めることができた。
- 多くの教職員が各研究団体の研修会や報告集会等へ参加し、教職員の人権教育に関する知識・技能、資質・能力の向上を図ることができた。

■ **今後の課題・方向性**

- 引き続き、教職員が主体的に研究を進めるにあたり必要な補助金を予算として確保していく。
- 各校における人権教育の充実につながるよう、情報提供や指導助言を行っていく。

■ **決算額（単位：千円）**

事業名	H29	H30	R1
熊取町人権教育研究協議会	887	852	845

②熊取町在日外国人教育研究協議会への支援

■ **取組概要**

- 熊取町在日外国人教育研究協議会に対し補助金を交付した。
- 総会、講演会へ出席し、情報提供、指導・助言を行った。

●●● II.施策の取組状況 主な取組【学校教育】3.生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

■ 取組結果

- 町内の在日外国人児童生徒等について、現状の把握や課題について共有することができた。
- 教職員が各研究団体の研修会や報告集会等へ参加し、教職員の在日外国人教育に関する知識・技能の習得を図ることができた。

■ 今後の課題・方向性

- 引き続き、教職員が主体的に研究を進めるにあたり、必要な補助金を予算として確保していく。
- 各校における在日外国人教育の充実につながるよう、情報提供や指導助言を行っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
熊取町在日外国人教育研究協議会交付金	154	154	144

③人権作品集発行

■ 取組概要

- 人権作品集「じんけん」（第44集）を発行し、全児童生徒および教職員に配付
- 人権作品集「じんけん」（第44集）を町議会議員、町職員（部長級以上）へ配付
- 人権作品集「じんけん」（第44集）閲覧用を生涯学習推進課、図書館、駅下にぎわい館へ配架
- 人権作品集「じんけん」（第45集）編集委員会を設置
- 人権作品集編集委員会（5回）における研修の実施、および指導・助言

■ 取組結果

- 人権作品集「じんけん」（第44「集」）の活用により、各校の人権教育の充実を図ることができた。
- 人権作品集「じんけん」（第44集）の配布・閲覧用の配架により、学校の取組み等を広く情報提供することができた。
- 人権作品集「じんけん」（第45集）の編集にあたり、各校において人権教育についての研究の推進、教職員の意識の向上がみられた。

■ 今後の課題・方向性

新たな人権課題や身近な人権課題への意識の向上をめざし、引き続き、人権作品集「じんけん」を作成・発行し、人権教育の推進を図っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
教育委員会運営事業 印刷製本費 （人権作品集「じんけん」印刷製本費）	573	550	529

④支援教育担当者会

■ 取組概要

- 支援教育担当者会を6回開催し、各校の取組みの情報共有等を行った。
- きずなシートの作成・活用の仕方、引き継ぎ方について確認を行った。
- 支援が必要な児童生徒について、保育所から小学校へ、小学校から中学校への引き継ぎを行った。
- 支援学級在籍生徒の中学卒業後の進路について研修を行った。

■ 取組結果

- 他校の取組みを知ることで、自校の取組みをふりかえり、改善することができた。
- きずなシートの作成等について、担当者の共通理解を得ることができた。
- 引継ぎを行うことで、子ども理解や個に応じた指導支援につなげることができた。
- 小・中の支援学級担当者間で、中学卒業後の進路について情報共有ができた。

■ 今後の課題・方向性

- 研修の充実を図るなど経験の浅い担当者への支援・育成をより細やかに行う必要がある。
- これまでの取組みを継続し、支援学級担任等の専門性を高め、自立活動等支援学級での授業内容の充実を図る。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

⑤介助員配置

■ 取組概要

- 介助や支援を必要とする児童生徒に対して、介助員を配置した。

介助員人数（3月末）	H29	H30	R1
小学校	35	32	39
中学校	4	5	3

■ 取組結果

- 教職員と連携しながら、教育現場の様々な場面において個々の児童生徒の個々のニーズに応じて適切な支援を行うことができた。

■ 今後の課題・方向性

- 介助員の継続的確保に努める。
- 介助員の児童生徒理解や支援方法等をさらなる充実を図る。

- II.施策の取組状況 主な取組【学校教育】3.生命や人権を尊重し、他者を思いやる
豊かな人間性の育成
-

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
小学校運営事業 支援教育介助員臨時雇賃金	39,790	39,893	40,364
中学校運営事業 支援教育介助員臨時雇賃金	4,957	4,645	3,721

4. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成

教育方針目標

ボランティア活動をはじめとする様々な体験活動の充実を図り、望ましい人間関係の形成や、社会生活上のルール習得などの社会性、社会の基本的なモラルなどの倫理観や規範意識の育成に努める。

また、いじめ、問題行動、不登校などの諸課題に対応するため、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことのできる生徒指導体制や相談体制を充実するとともに、子ども家庭センターや警察など、地域や関係機関との連携などに努める。

①児童相談事業

取組概要

町内の子どもたちの健全育成や親の子育てに関する課題解決のため、子ども及びその保護者の相談に応じ、適切な支援を提供した。

取組結果

町教委に4人の臨床心理士、2人の教育相談コーディネーター*を配置し、延べ1,214人の相談等を実施した。

今後の課題・方向性

子どもたちを取り巻く環境が変化し、心理の専門職からのアドバイスが必要なケースが増加している。今後も、関係機関が連携し、児童生徒の課題や保護者からの悩み等に確実に対応できるよう、協働的な取組みを継続していく。

決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
児童相談事業	2,379	2,433	2,360

②スクールカウンセラー配置事業

取組概要

児童生徒の心のケア、保護者等の悩みの相談や教職員のコンサルテーションの中心的な役割を果たす臨床心理士を、スクールカウンセラーとして週1日全中学校に配置した。

取組結果

児童生徒、保護者、教職員合わせて延べ869人の面接等を実施した。継続的な関わりの中で、学校内の貴重な居場所となっているケースも見られた。

■ 今後の課題・方向性

今後不登校や問題行動など様々な課題に対して、心理的なアプローチが不可欠である。心理の専門家であるスクールカウンセラーや福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー等が、チームとして多面的に児童生徒の課題を解決できるような体制を整備する。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

③ スクールソーシャルワーカー活用事業

■ 取組概要

昨今、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動、少年非行の低年齢化や小学校における学級崩壊、青少年による命にかかわる重大事案の発生等、児童生徒の抱える課題は多様化、複雑化している。子どもの心身の健康な発達のためには、学校教育のみならず、家庭の教育機能の充実がたいへん重要である。そこでスクールソーシャルワーカーを配置し、課題をもつ児童生徒や家庭、保護者を支援することにより、児童生徒の抱える課題を解決した。

	H29	H30	R1
スクールソーシャルワーカー配置人数（人）	3	4	5

■ 取組結果

児童生徒だけではなく、家庭からの相談も受け、家庭状況の把握に努め、多面的な支援を行うことができた。スクールソーシャルワーカーの福祉的な関わりにより、登校状況が大きく改善されたケースもあった。

■ 今後の課題・方向性

福祉的なアプローチが必要な家庭が増加している背景を受け、より専門的な関わりが求められている。教育委員会、健康福祉部等が日常的かつ機能的に連携し、情報を一元化し、子どもや家庭を支援する体制づくりを推進する。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
スクールソーシャルワーカー活用事業	7,314	9,745	10,691

5. 児童生徒の安全確保

教育方針目標

保護者や地域の関係団体などの協力を得て、地域と一体となって児童生徒の安全確保のための方策を講じるとともに、学校安全教育を推進し、児童生徒がそれぞれの状況に応じて、危険に適切に対応できる能力を育成する。

①学校防犯システム*

■ 取組概要

全小中学校に、防犯カメラを設置するとともに学校防犯システムを導入している。具体的には、小学校ではICタグを持った児童が校門を通過すると、その記録が学校のパソコン及び希望により保護者の携帯電話等に通知される。中学校においては希望により保護者の携帯電話等に通知される。あわせて、学校から保護者に対して一斉メール配信できるシステムも活用している。

■ 取組結果

学校防犯システムにより、保護者から下校に関する問い合わせがあった際、即応することができ、保護者の安心感につなげることができた。また、一斉メール配信システムにおいては、緊急時に広範囲に発信することができ、有効な連絡手段の一つとなった。

■ 今後の課題・方向性

緊急時における連絡体制の構築を進める必要がある。保護者に対し、一斉メール配信システムへの加入を促進していく。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

②安全・安心なまちづくり事業

■ 取組概要

子どもがあらゆる暴力（虐待、いじめ、誘拐、痴漢など）から自分を守るために何ができるかを学ぶCAP（Child Assault Prevention）プログラム*を、小学4年生と教職員を対象に実施した。

■ 取組結果

自分を守ることを通して、自他の人権を守ろうとする姿勢を育むことができた。また、教職員にとっては、自らの教育活動を振り返るいい機会となった。

■ 今後の課題・方向性

子どもたちが「安全・安心」について考える機会を系統的に計画し、関係機関と連携した取組みを進めていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
安全・安心なまちづくり事業	290	290	310

③大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

■ 取組概要

学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校・家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備した。具体的には警察官 OB をスクールガード・リーダーとして配置し、子どもの安全確保に努めた。

■ 取組結果

全小学校区にスクールガード・リーダーを 1 名ずつ計 5 名配置した。学校や関係団体等と情報交換を密にし、安全確保に努めることができた。

■ 今後の課題・方向性

スクールガード・リーダー間の情報共有を確実に行うようにしていく。また、子ども見まもり隊や熊取安全パトロール隊、保護者、学校、教育委員会等の協力体制を充実させ、迅速に不審者情報等の共有を行い、児童生徒の事件や事故の未然防止に努めていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	2,732	2,732	2,732

④危機管理マニュアルの点検・見直し

■ 取組概要

「学校における危機管理マニュアル（熊取町教育委員会作成）」を学校に提示し、各校の危機管理マニュアルの点検・見直しを行うよう指導した。

■ 取組結果

平成 30 年 3 月に改訂した「学校における危機管理マニュアル」をもとに、作成した昨年度のマニュアルを点検し、実態に応じた見直しが行われた。

■ 今後の課題・方向性

年度ごとに安全点検を行い、「学校における危機管理マニュアル」を改訂するよう指導していく。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

6. 教育環境や条件の整備

目標

熊取町立小・中学校に通う児童生徒が均しく義務教育を受けることができるように援助し、充実した教育活動を存分に展開できるよう快適で十分な安全性、防災性、衛生的な環境を整える。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かで安全・美味しい食事を提供することにより健康の増進を図る。

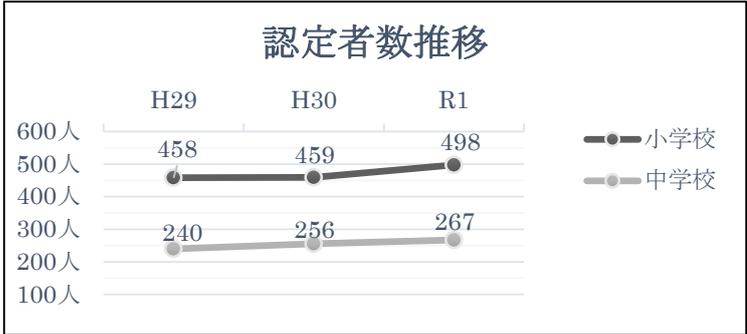
①就学に関する支援

■ **取組概要**

生活保護費受給世帯及びそれに準じる世帯の町立小・中学校に通う児童生徒の学用品費、修学旅行費、学校給食費、校外活動費等の援助費を交付し、児童生徒の保護者に対し経済的支援を行い、ひとしく義務教育を受けることができるようにする。また、平成29年度より、翌年4月入学予定の児童生徒に対して、新入学学用品費の入学前支給を実施し、令和元年度には、新型コロナウイルス感染症対策による、臨時休業中の給食費相当額について加算し支給を実施した。

■ **取組結果**

●要保護・準要保護児童生徒＊に就学援助費を交付することにより町立小中学校に通う児童生徒がひとしく教育を受けられるよう寄与している。新入学学用品費の入学前支給の実施により、保護者がより必要とする時期の援助が実施できている。



■ **今後の課題・方向性**

厳しい財政状況のなか、現在の認定基準の見直しをする必要があるが、就学援助制度の周知をさらに図り、援助が必要な保護者に行き届くようにする。

■ **決算額（単位：千円）**

事業名	H29	H30	R1
小学校就学援助事業	30,497	29,549	36,087
中学校就学援助事業	28,558	24,920	30,527

② 学校施設整備の充実

取組概要

児童・生徒たちの学習・生活の場である学校施設において、充実した教育活動を展開できるよう、快適で十分な安全性、防災性、衛生的な環境を確保するための施設整備を計画的に行っている。

取組結果

● 小学校修繕内容

- ① 南小 防火シャッター改修工事
- ② 南小 汚水処理施設曝気ブローター取替修繕
- ③ 東小 給食排水槽グリストラップ及び放流ポンプ槽取替修繕

● 中学校修繕内容

- ① 熊中 防球ネット設置工事
- ② 北中 給食場屋根改修工事
- ③ 南中 時計塔雨漏り改修工事
- ④ 南中 プールサイドテント撤去工事
- ⑤ 南中 体育館舞台照明調光操作盤取替修繕
- ⑥ 熊中・南中 電気設備更新

● 小・中共通

- ① プール循環ろ過装置修繕
- ② 消防用設備修繕

今後の課題・方向性

老朽化が進む小・中学校施設の計画的な改修の検討を進める。

決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
小学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	742	12,735	88,171
小学校維持管理事業（臨時）修繕費	9,873	9,642	6,949
中学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	36,442	2,908	14,465
中学校維持管理事業（臨時）修繕費	7,957	4,994	8,170

③ 給食事業の充実

取組概要

全小・中学校に単独調理場方式の調理場を備え、調理業務の民間委託により運営している。また、栄養バランスのとれた食事を適温で提供することで、成長期にある児童生徒の心身の発達のため健康の増進、体力の向上等の役割を担いながら、安心・安全な給食の提供を行っている。

■ 取組結果

- ①西小・南小 ワンタッチスライサー、牛乳保冷庫更新
- ②西小・南小 食器洗浄機更新
- ③北中 球根皮むき機、ガス回転釜更新

■ 今後の課題・方向性

老朽化が進む施設の将来的なあり方等の検討を進める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
小学校給食事業	96,817	93,904	107,440
中学校給食事業	49,736	48,561	47,195

1. 生涯学習の推進

教育方針目標

町内大学との連携、地域人材の活用等を行いつつ、社会的要請や学習ニーズに応じた講座・学習の機会の提供に努めるとともに、学習成果の発表・活用機会の充実を図る。

学校・家庭と社会教育団体等をはじめとする地域との連携により、学校の教育活動の支援や登下校時の見守り活動等を行い、子どもたちの安全・安心な居場所づくり、青少年の健全育成に努める。

生涯学習関連部局をはじめとする庁内関係部局と各種講座等事業に関して連携を図り、さらなる住民サービスの向上に努める。

① 学習機会の提供

取組概要

熊取ゆうゆう大学*を企画・運営し、住民ニーズや社会的要請等を踏まえながら、様々なテーマを設定した講座等をはじめとする学習機会の提供を行う。

取組結果

●熊取ゆうゆう大学の各楽部（体験楽部・教養楽部・ゆうゆう楽部）において、各種講座を実施し、様々な学習機会の提供を行うことができた。

また、第4次生涯学習推進計画に掲げた新楽部の設立に向け、庁内調整を行った。

●熊取町人権協会及び首長部局（人権・女性活躍推進課）と連携し、人権啓発地域映画会や講演会を実施し、人権啓発活動に取り組んだ。

●直近3年間の講座参加者数（単位：人）*講座名の再編あり。

楽部名	講座名	H29	H30	R1
体験楽部	はつらつ世代講座	334	271	222
	家族ふれ愛講座	426	393	259
	ジュニアチャレンジ講座（大学連携）	174	228	248
教養楽部	親育ちサロン（親学習リーダー養成含む）	35	31	22
	人とゆたかにつながる講座	3	11	12
	IT 講座	171	93	144
	料理講座	151	69	29
	語学講座	189	222	232
	資格取得講座	441	253	229
	教養講座	547	424	438
	子ども向け講座	653	495	473
	公民館体験講座	46	18	56

楽部名	講座名	H29	H30	R1
ゆうゆう 楽部	地域活動入門講座	78	87	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、中止
合 計		3,248	2,595	2,364

●くまとり井戸端セミナー*の利用実績：35件

●人権啓発地域映画会：実施地区数：29地区・参加者数：399人

●人権講演会：人とひと・ふれ愛の集い 参加者数：180人

男女共同参画講演会（2回） 参加者数：計170人

人権学習会 参加者数：50人

■ 今後の課題・方向性

めまぐるしく変化する社会的課題や多様な住民ニーズの把握を進めつつ、それらに対応した講座等の企画・運営に継続して取り組む必要がある。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
生涯学習推進事業	789	830	776
公民館講座事業	1,429	1,102	957

② 学習環境の整備

■ 取組概要

町内の3大学1研究所と連携・協力をすることで、それぞれが有する特色があらわれた学習活動機会を提供する。

■ 取組結果

1大学1研究所と連携し、特色を活かした講座や事業等を実施することができた。

〔大阪体育大学と連携〕

●家族ふれ愛講座 「レッツアウトドア～デイキャンプを楽しもう～」

参加者：34人

●ジュニアチャレンジ講座 「ちびっこキャンプ」 参加者：35人

「サマーキャンプ」 参加者：39人

「チャレンジキャンプ」参加者：45人

〔京都大学複合原子力科学研究所と連携〕

●ジュニアチャレンジ講座 「科学実験教室」 参加者：51人

■ 今後の課題・方向性

町内大学の特性やノウハウを活かしながら、さらなる連携を検討し、それぞれ相乗効果が上がるようなイベントになるよう取り組む。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
生涯学習推進事業（再掲）	789	830	776

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 自主活動を支援するため、個人の学習活動成果とそれを学びたい人々を結びつけることを目的に「くまとり人材バンク制度*」を運用する。
- 社会教育関係団体が円滑に活動できるよう、補助金による財政的支援等を行う。

■ 取組結果

- 制度の周知を行いつつ、登録者の発表の機会でもある「くまとり人材バンクデー」を開催した。
- くまとり人材バンクデー：令和元年9月7日（土）開催
10 講師による実演に延べ 107 人が体験・参加
- くまとり人材バンクの利用実績：15 件
- こども会をはじめとする各社会教育関係団体に対し、財政的支援を行うとともに、事務局業務の補助等を行った。
しかしながら、熊取町婦人会については、構成員数及び加入地区数の減少に伴い、令和2年3月31日をもって解散となった。

■ 今後の課題・方向性

くまとり人材バンクの利用件数が低調に留まっており、今後の利用促進に向けた方策を検討する必要がある。

また、各社会教育団体については、構成員数が減少傾向にあることから、各種事業・活動の見直しを行い、団体活動の活性化を図る必要がある。

■ 決算額（単位：千円）

団体名	H29	H30	R1
こども会育成連絡協議会	540	540	540
ボーイスカウト熊取第1団	56	56	56
小・中学校PTA連絡協議会	108	108	108
青年団	400	400	400
婦人会	468	468	468

④地域連携の推進

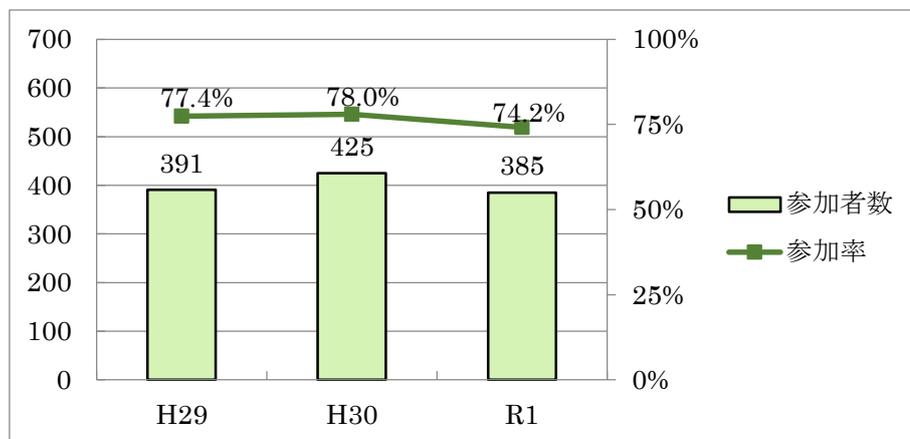
取組概要

- 町内各地区の青少年指導員から構成される熊取町青少年指導員連絡協議会が実施する、青少年・子どもの健全育成に資する活動を支援する。
- 熊取町青少年問題協議会を開催し、町内の青少年・子どもの健全育成に関する団体間の交流・情報交換等を行う。
- 地域全体で青少年の成長を祝福し、新成人に成人としての自覚や責任感を促すため、成人式を挙げる。
- 地域の各団体やボランティアの協力のもと、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりや学習支援に取り組む。
- 学校・家庭・地域の三者が一体となって、各地域における「教育コミュニティ」（=くまとり地域教育協議会）を形成し、子どもたちの教育環境の充実や安全確保に取り組む。

取組結果

- 熊取町青少年指導員連絡協議会の主な活動
 - ・夏休み期間中のパトロール（計3回、PTA との合同パトロール含む）
 - ・青少年の非行防止等啓発活動（年2回）
 - ・「児童・青少年を考えるつどい」の開催（PTA との共催）
テーマ「いじめの早期発見と対応方法について」 参加者：116人
 - ・「こどもひろば」の実施 参加者：100人
- 令和元年熊取町青少年問題協議会を令和元年7月10日（月）に開催し、情報交換等を行った。
- 令和2年成人式を令和2年1月12日（日）に開催し、新成人385人が参加した。（対象者数：519人・参加率：74.2%）

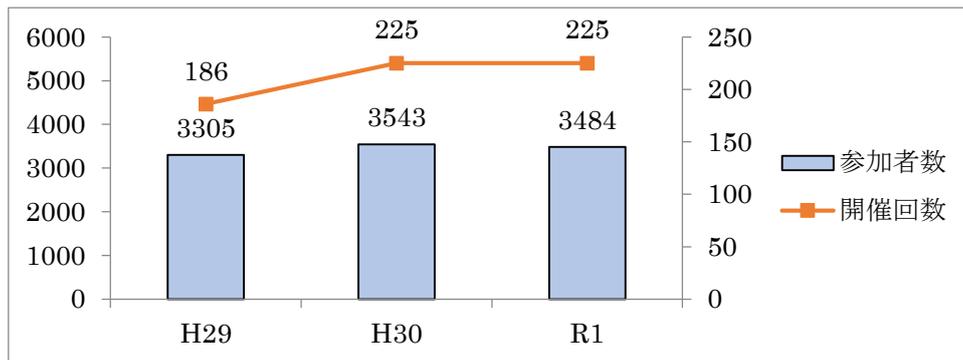
〔参考〕成人式参加者数等推移（単位：人・%）



- 地域の各団体等の協力を得て、各小学校区において、放課後の子どもたちが安全・安心にさまざまな体験活動等を行うことができる居場所として、「くまとり元気広場」（= 放課後子ども教室*）を実施し、令和元年度より北小学校において放課後子ども学習室を開始し、新たな居場所づくりを行うことができた。

〔参考〕「くまとり元気広場」の参加者数等推移（単位：人・回）

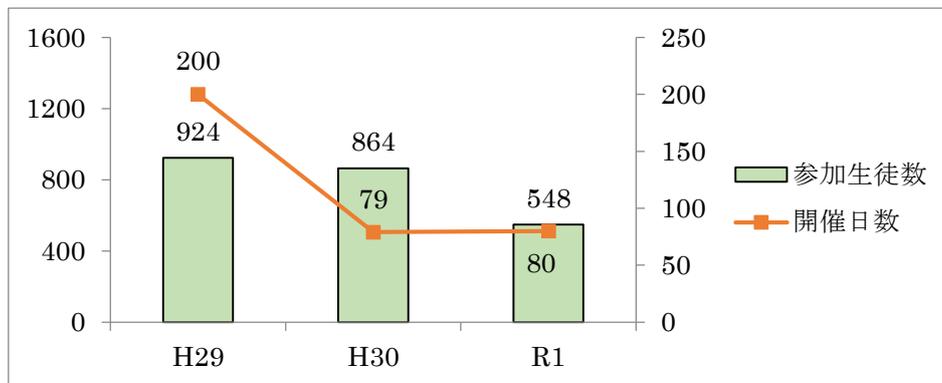
※令和2年3月実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止。



- 中学生の放課後の居場所づくりと学習支援を兼ねて、各町立中学校の余裕教室等を活用して「中学校放課後自習室」を開設した。

〔参考〕「中学校放課後自習室」の参加者数等推移（単位：人・日）

※令和2年3月実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止。



- 地域教育協議会において、安全確保の取組みとして、各校区の危険箇所をまとめた「安全マップ」を更新し、登下校の安全を見守るボランティア活動「子ども見まもり隊」を継続して展開した。

■ 今後の課題・方向性

熊取町青少年指導員連絡協議会及び熊取町青少年問題協議会による活発な活動が、青少年・子どもの健全な育成環境の確保に寄与できているところであるが、今後とも団体間の交流や情報交換等を行える機会づくりを工夫・継続していく必要がある。

成人式については2022年4月から施行される成人年齢の18歳への引き下げ等、社会的背景も踏まえながら、今後の成人式の企画・運営や在り方等を検討していく

必要がある。

「くまとり元気広場」については、各団体のプログラム内容の工夫により多様なメニューを実施することができているが、引き続きプログラムの充実を図る必要がある。

一方、「中学校放課後自習室」については、主にニーズが高いテスト前に学校で開催しているが、参加者数は減少していることから、子どもたち（中学生）の居場所としての自習室のニーズも踏まえつつ、実施形態や内容について検討する必要がある。

地域教育協議会については、学校・家庭・地域の三者をつなぐ役割を担うとともに、引き続きさまざまな活動を通じて、地域の住民団体等による学校教育活動への協力体制の推進を図る。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
青少年指導活動事業	858	1,016	908
成人式運営事業	1,019	975	1,204
放課後子ども教室*推進事業	641	709	510
子育て支援放課後自習室*事業	1,839	770	633
学校支援地域本部*事業	949	897	904
地域連携推進事業	247	147	273

(※)「学校支援地域本部事業」「放課後子ども教室推進事業」

(補助率：国・府それぞれ 1/3)

(※)「子育て支援放課後自習室事業」

⇒ 府補助金「大阪府新子育て支援交付金」を活用（補助率：10/10）

⑤ 推進体制の整備

■ 取組概要

- 社会教育委員会議において、生涯学習推進計画の進捗状況の確認を行うとともに、各施策・事業の効果測定や展開方針の確認を行う。

■ 取組結果

- 生涯学習推進計画に基づいて実施する、個別具体的な事業等を定める実施計画である社会教育事業計画の策定及び事業報告や意見交換を行った。

第1回社会教育委員会議 令和元年6月24日（月）開催

議題：平成30年度社会教育事業報告（案）について

第2回社会教育委員会議 令和2年3月11日（水）開催

議題：令和2年度社会教育事業計画（案）について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催

■ 今後の課題・方向性

本町における生涯学習をより活発化させるために、定例的な報告等に加えて、今後、本町がめざす生涯学習の在り方等についても議論を進めていく必要がある。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
社会教育一般事務経費	169	164	161

※社会教育委員会議の運営に係る決算額のみ抜粋

2. 文化・芸術の振興と充実

教育方針目標

多様化する住民の文化・芸術活動に対応できるよう、地域の歴史資料の収集をはじめ、イベント情報など幅広い情報を収集するとともに、それぞれの活動者に応じたより効果的な情報の提供に努める。

住民が安全に安心して活動できるように施設の適正な維持管理を行うとともに、施設の適正配置を考え、より効率的な施設運営を目指す。また、各施設の特性に応じ、さまざまな学習活動に適した施設の整備に努める。

文化・芸術活動の発表機会の充実やきっかけづくりとなるような事業を実施し、住民の自主活動の支援に取り組むとともに町内大学との連携を深め、その特色とノウハウを活かしたイベント等を実施する。

① 学習機会の提供

取組概要

- 煉瓦館や公民館・町民会館などにおいて様々な文化・芸術情報の発信を行うとともに、郷土資料のデジタルアーカイブ化*事業の令和2年度の運用開始を目指すべく、資料収集を行った。
- 熊取ゆうゆう大学について、学びやすい環境（保育付きや土・日曜開催やインターネット申込）を提供するとともにきっかけづくりとなる体験講座などを実施した。
- 郷土の歴史や文化を後世に伝えることや住民がまちに愛着を持てるような、企画展や講座を開催した。

取組結果

- 公民館講座として、全 33 講座、延べ回数 196 回の講座を企画したが、申込者少数やコロナウイルス感染症拡大防止のため、6 講座については全部または一部を中止することとなった。

- 熊取ゆうゆう大学（公民館講座）の参加者数（単位：人）（再掲）

事業名	H29	H30	R1
公民館講座（全体）	2,198	1,574	1,601

- 文振連*との連携による体験事業 参加者(延べ)数（単位：人）

事業名	H29	H30	R1
子ども囲碁広場	133 (12)	60 (12)	104 (12)
夏休み親子陶芸体験	42 (2)	18 (2)	21 (2)
夏休み親子茶道体験	12	—	—
伝承横山おどり講座	102 (10)	94 (7)	—

※（ ）内の数字は開催回数（ ）がない欄は 1 回開催

※夏休み親子茶道体験は、平成30年度、令和元年度は参加者が集まらなかったことから中止した。また、伝承横山おどり講座は、令和元年度から廃止した。

●歴史・文化に関する企画展等の参加者数（単位：人）

事業名	H29	H30	R1
企画展（R1 は熊取の歴史展）	—	687	—
藍染体験	186	126	167

※平成29年度、令和元年度の企画展については、自由に見学できる形式のため来場者数は把握していない。

■ 今後の課題・方向性

- デジタルアーカイブ化事業については令和2年度の早期に運用開始できるよう取組を進めるとともに、文化・芸術情報の発信の拡充に努める。
- 厳しい財政状況により予算確保が難しい中でも、事業内容の工夫により充実を図られるよう検討していく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
公民館講座事業費（再掲）	1,429	1,102	957

②学習環境の整備

■ 取組概要

- 安全に安心して活動できるように施設の保守点検の実施など適切な維持管理を行った。
- 公民館・町民会館について、耐震改修が必要なことや老朽化が進んでいることから、整備について検討を進め、整備方針として取りまとめた。
- 重要な文化財を熊取町指定文化財*として保存するとともに適切な維持管理について、所有者に対して指導、助言、補助を行うとともに、文化財等を活用した学習機会の提供やレファレンスを行った。
 - ・町内小学校の社会見学（中家住宅、煉瓦館）の受入れ（5小学校 390人）
 - ・発掘調査等の実施（発掘調査:12件、立会調査:7件、試掘調査:9件）
 - ・くまとりドキドキ博物館事業への補助金交付（歴史ウォークなど） 200千円
- 国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、社会教育施設等における令和18年度までを計画期間とした、計画的かつ適切な維持管理と可能な限りの長寿命化を図ることを目的とする「熊取町社会教育施設等個別施設計画」を策定した。
- 重要文化財中家住宅*について、平成30年9月に発生した台風の影響により大きな被害を受け、緊急に着手した災害復旧工事については、表門の耐震対策工事も併せて実施し、令和2年3月31日をもって完了した。

■ 取組結果

- 各施設とも適正な維持管理を行い、安全、安心な活動場所を提供することができた。

●施設利用状況（上段：利用人数 下段：利用率）

施設名	H29	H30	R1
公民館	20,566 人 27%	22,552 人 28%	18,392 人 25%
町民会館（ホール以外）	12,045 人 29%	12,428 人 31%	9,950 29%
町民会館（ホールのみ）	27,131 人 38%	31,676 人 38%	22,920 人 35%
町民会館分館	18,658 人 27%	8,849 人 27%	— —
教育・子どもセンター	— —	8,444 人 62%	15,816 人 62%
煉瓦館	62,749 人 70%	57,823 人 70%	58,122 人 67%
中家住宅 来館者数	7,031 人	1,735 人	—
貸出件数	33 件	8 件	—

※町民会館分館は平成 30 年 9 月 30 日をもって廃止、教育・子どもセンターは平成 30 年 10 月 1 日から供用開始

※中家住宅は、平成 30 年 9 月 4 日から令和 2 年 3 月 31 日まで、その他の施設は、令和 2 年 3 月 4 日から 3 月 31 日まで臨時休館

●熊取町内の指定文化財の件数 ※昨年度から増減なし

種類	国指定	大阪府指定	熊取町指定
建造物	3	0	1
史跡	1	0	1
名勝	0	0	1
天然記念物	0	1	1
考古資料	0	0	2
有形民俗文化財	0	0	3
彫刻	0	0	1
計	4	1	10

■ 今後の課題・方向性

●公民館・町民会館については、全庁的な取り組みにより整備方針を定めたところであり、令和 2 年度から基本構想を策定したうえで実施設計など具体的に整備を行っていく。

●文化財保護法の改正により、市町村における文化財の保存活用に関する基本的なアクションプランである「文化財保存活用地域計画」が策定できることとなったことから、当該計画の策定に向けて検討を行っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
公民館・町民会館 維持管理費	21,137	18,459	21,109
教育・子どもセンター維持管理費	—	6,214	4,336
煉瓦館 維持管理費	19,187	18,263	17,248
中家住宅 維持管理費	4,015	3,317	2,627

※維持管理費に正職員の人件費は含んでいない。また公民館と中家住宅の維持管理費には非正規職員の人件費が含まれる。

※公民館・町民会館に分館は含まれているが、平成30年9月30日をもって閉館している。

※教育・子どもセンターの貸館は、平成30年10月1日から開始している。

※中家住宅は、台風21号により被災した平成30年9月4日以降、閉館しており、災害復旧工事費は含まれていない。

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 様々な文化・芸術の鑑賞機会を提供するとともに、住民による文化・芸術活動の動機づけや発表機会を提供する事業を実施した。
- 各種活動団体が自主的に継続して活動していけるよう支援を行った。
 - ・公民館・町民会館、煉瓦館、教育・子どもセンター活動サークル案内の作成、配架
 - ・文振連への支援（公民館使用料の減免）（登録団体数：40団体）
 - ・煉瓦館コミュニティ団体への支援（煉瓦館使用料の減免）（登録団体数：17団体）
 - ・コミュニティ備品の活動団体や自治会などへの貸し出し（貸出件数：257件）

■ 取組結果

- 次のような文化・芸術の鑑賞機会を提供し、住民活動の向上に寄与することができた。また、公民館文化事業の実施にあたっては、一般公募により組織した住民協働企画会議の協力により実施し、住民目線での事業展開を行うことができた。

- 文化・芸術鑑賞事業参加者（来場者数）数（単位：人）

事業名	H29	H30	R1
公民館文化事業	377 (2)	251 (2)	166 (1)
ファミリーサマーコンサート	400	413	513
煉瓦館交流ホールコンサート	152 (2)	44	80
イルミネーションコンサート	228	240	140
中家手づくりコンサート	36	37	—
中家@ほ〜む寄席 ※H30は煉瓦館で実施	64	89	—
中家文化事業 ※H30は煉瓦館で実施	75	74	—

※（ ）内の数字は開催回数、（ ）がない欄は1回開催

※令和元年度の中家住宅の事業は、災害復旧工事のため中止した。

●発表事業 参加者（出演者）数 （単位：組）

事業名	H29	H30	R1
ファミリーサマーコンサート	14 (15)	13 (15)	12 (15)
町民文化祭（舞台発表）	36 (50)	37 (45)	30 (45)
〃 （作品展）	40	47	45
公民館展示ケース貸出	23	24	22
煉瓦館交流ホールコンサート	4 (4)	1 (4)	1 (2)
煉瓦館ギャラリーロード貸出	28	32	31
中家手づくりコンサート	1 (2)	1 (4)	—

※（ ）内の数字は募集組数

※令和元年度の中家住宅の事業は災害復旧工事のため中止した。

■ 今後の課題・方向性

各活動団体の規模が縮小傾向にあることから、継続して各団体の活性化を図るような取組みを行うとともに、幅広く住民が参加しやすい環境を整える。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
公民館文化事業費	2,109	1,922	2,031
煉瓦館運営事業費	1,277	716	717
中家住宅運営事業費	550	500	200

④地域連携の推進

■ 取組概要

- 町民文化祭と町内の3大学1研究所における学園祭等の事業の開催にあたって、相互にチラシへの事業案内の掲載やポスター掲示、熊取駅前自由通路での合同PR活動を行い、各々の事業の活性化に努めた。
- くまとりイルミネーションナイト事業で熊取中学校吹奏楽部による吹奏楽の演奏を行い、イベントを盛り上げた。
- 文振連加盟団体の代表者等が講師を務める公民館体験講座を開催した。

■ 取組結果

- 町民文化祭の開催にあたっては、町内の福祉施設にバザーを出店していただき、にぎわいの創造につなげることができた。
- 各種イベント等の実施にあたり、各種団体との協働実施により、当該団体との連携を深めたほか、団体の活性化にも寄与することができた。

● イベント等参加者（来場者）数 （単位：人）

事業名	H29	H30	R1
町民文化祭来場者数	3,945	3,786	3,422
くまとりイルミネーションナイト	5,115	4,371	4,438
公民館体験講座（4講座）※R1は3講座	281	172	125

■ 今後の課題・方向性

様々な活動団体との連携による事業実施等の推進により、さらなる地域文化と当該活動団体の活性化に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
町民文化祭実行委員会補助金	1,574	1,487	1,597

⑤ 推進体制の整備

■ 取組概要

● 文化・芸術の発展に努めるため、様々な事業やイベントの実施にあたり、庁内関係部局との連携を行った。

■ 取組結果

● 町内他部局との連携により、次のような様々な事業、イベントを開催し、施設の利用促進や、にぎわいの創造につなげることができた。

- ・くまとりにぎわい観光協会コンサート、野菜品評会、方言かるた大会（産業振興課）
- ・耐震セミナー（まちづくり計画課）
- ・環境セミナー、環境フェスティバル（環境課）
- ・緑化フェア、熊取のみどり・花・自然写真展（水とみどり課）
- ・七夕イベント、くま恋（カップリングパーティー）（熊取町商工会）
- ・消防防火図画展（泉州南消防組合）
- ・男女共同参画講演会、人権ポスター展・パネル展（人権推進課）
- ・アートフェスタ泉南（泉南地区高等学校）
- ・吹奏楽コンサート（熊取中学校）
- ・ミルデュラ展（政策企画課）

■ 今後の課題・方向性

町内関連部局との連携を強化し、様々な事業・イベント等を開催することで、生涯学習部門で補いきれない事業展開を図り、多種多様な情報発信、文化・芸術の発展に努める。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

3. 生涯スポーツの推進

教育方針目標

住民のニーズに応じたスポーツ教室や各種スポーツイベントの開催、また、スポーツ関係団体の支援、育成、身近でハイレベルな競技や試合を観ることができる大会の招致など、スポーツに親しむ機会及びスポーツへの興味・関心、参加意欲を持つ機会の充実に取り組む。

さらに、町内各大学と連携したイベント等の実施やスポーツ指導者等の確保、養成と資質向上に努める。

① 学習機会の提供

取組概要

- ひまわりドームや学校体育施設（運動場、体育館、武道館）など生涯スポーツの場を広く提供する。
- 医療大学と連携して「健康お悩み相談コーナー」を開設し、スポーツによるケガのリハビリ方法やケガを防ぐトレーニング方法等の知識を広める。

取組結果

- ひまわりドーム利用者数（単位：人）

	H29	H30	R1
個人利用者数	99,813	96,887	87,304
教室受講者数	33,371	32,935	32,220
団体利用者数	106,957	101,069	82,194
合計	240,140	230,891	201,718

- 学校体育施設（運動場、体育館、武道館）利用者数（単位：人）

	H29	H30	R1
小中学校体育館・武道館	60,484	49,897	43,782
小中学校運動場	6,771	4,781	3,560
小学校プール	5,564	3,954	3,773

- 「スポーツリーダーバンク*」登録者の派遣者数（自治会、こども会、町立3中学校のクラブ活動などの要請による。）（単位：人）

	H29	H30	R1
登録者数	224	236	236
派遣人数	13	12	1

- 町民総合体育大会 18競技の開催（参加者 2,438人）

- 「健康お悩み相談コーナー」の開設、健康体操教室の実施
（相談：全 41 回、相談者 93 人 教室：全 24 回、参加者 509 人）

- 子どもから大人まで気軽に参加できる「ショートテニス教室」を通じて、スポーツの楽しさを広めるとともに他のスポーツへの参加を促進できた。
- 観るスポーツの提供
 - ・「大阪国際武術太極拳交流大会」
 - ・自主活動サークルで活動している方々の成果発表の場で、町内在住の元世界チャンピオンや全日本で活躍する選手によるエキジビションを含む「第20回くまとり太極拳フェスティバル」を開催した。

■ 今後の課題・方向性

- スポーツ施設の更なる利用促進に向け、新たな指定管理者とともに連携を図りながら、さらなる各種事業の充実に努める。
- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するため、明確な目標を定めるとともに、指導者等の人材の育成を図るなど着実にそのための取組みを進める。
- スポーツを始める機会、健康の保持増進の機会の創出を図る。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
総合体育館等指定管理委託料	90,623	90,349	87,480
町民総合体育大会開催	2,248	2,145	2,153
小学校プール一般開放	5,686	4,742	4,841

②学習環境の整備

■ 取組概要

スポーツ施設の適正な管理運営のため、多岐に渡る各施設の修繕等を行う。

■ 取組結果

- 各施設修繕内容
 - ①八幡池青少年広場照明自動点滅器取替修繕
 - ②総合体育館消防設備不良箇所機器取替修繕
 - ③総合体育館ボイラー圧カスイッチ機器取替修繕
 - ④総合体育館昇降機設備修繕
 - ⑤総合体育館メインアリーナ床改修工事
 - ⑥総合体育館中央制御盤改修工事
 - ⑦総合体育館屋根改修工事
 - ⑧町民グラウンド等フェンス改修工事
- 利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設及び設備の適切な保守・修繕を行った。

■ 今後の課題・方向性

スポーツ施設の状況把握のため、定期的な点検を行っていくことが必要である。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
総合体育館等の修繕	1,903	7,503	34,041

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 熊取町体育協会として各種の事業を実施する。
- 熊取町スポーツ少年団（13団）として各種の事業を実施する。
- 日頃より団体と連携を図り、団体の加盟者募集も積極的に行う。

■ 取組結果

- 熊取町体育協会
 - ・町民総合体育大会の開催（18競技・参加者 2,438人）
 - ・スポーツ教室の開催（サッカー、バドミントン、卓球）
 - ・府総合体育大会泉南地区大会（ソフトテニス）の運営
 - ・「KIX泉州国際マラソン」の運営協力
- 熊取町スポーツ少年団
 - ・第40回結団式及び設立40周年記念式典（団員及び指導者 253人）
 - ・「KIX泉州国際マラソン」への運営協力
- 各種の取組みに際し綿密な打ち合わせを重ね、各種事業において一定の成果を得た。
- イベントへの運営協力を全団体に求めることにより団体相互の交流や相互扶助を図ることができ、お互いの連帯意識の高揚につなげることができた。

■ 今後の課題・方向性

ニーズに即した的確な指導者等の確保や養成、また、資質向上を図ることが必要である。スポーツ関係団体との連携によるスポーツ指導者の養成や指導対応等を含めた資質向上を図るとともに、スポーツを「ささえる」人材の確保、養成に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
体育協会補助金	1,048	1,048	1,048
スポーツ少年団補助金	160	160	160

④地域連携の推進

■ 取組概要

- 幅広いスポーツ教室を開催し、障がい者やリハビリを勧められている方など、スポ

ーツに取り組む機会を提供する。

- ひまわりドームや学校体育施設の一般開放などにより住民の健康づくりとふれあいの場を提供する。
- 町内各大学と連携した教室等の開催により、住民が主体的に参画するスポーツ環境の整備を促進する。

■ 取組結果

- スポーツ教室参加者数（単位：人）

- ・指定管理者との連携（教室例）

	H29	H30	R1
太極拳（2 教室）	689	537	512
ヨガ（5 教室）	3,702	3,697	3,574
高齢者健康体操（2 教室）	1,259	1,177	897
フラダンス（1 教室）	952	1,004	695
障がい者・障がい児水泳（3 教室）	620	577	438

- ・大阪体育大学との連携

	H29	H30	R1
ミニバス教室（子ども1 コース）	223	362	-
Let`s SPORT（小学生対象のスポーツ体験プログラム）	15	21	48

- ・スポーツ推進委員協議会との連携

	H29	H30	R1
ショートテニス	234	156	164

- ・スポーツリーダーバンク登録者を活用した体験会

	H29	H30	R1
太極拳	6	-	-
太極柔力球	9	-	-
ジュニアカンフー	-	-	-
親子カンフー	8	-	-

- スポーツに取り組む住民層が幅広くなり、ひまわりドームや学校体育施設の一般開放利用の活性化に繋がった。
- 町内各大学と連携した教室等の開催により、住民が主体的に参画するスポーツ環境

の整備に繋がった。

■ 今後の課題・方向性

- 子どもから高齢者まで日頃からスポーツに親しむ機会の確保が必要であり、地域と連携を行う。
- 障がい者や高齢者等、だれもがスポーツに参加できる環境整備に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
太極拳フェスティバル	250	482	523
くまとりロードレース	3,400	3,400	3,034

※太極拳フェスティバル H30：のぼり200本作成含む

※第30回くまとりロードレース R1：新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止

【参考】申込者：クォーターマラソン 405人、3km 686人 計 1,091人

⑤推進体制の整備

■ 取組概要

- スポーツイベント等において、庁内関係部局とも連携し、滞りなく事業を実施し、イベントの賑わいをもたらした。

■ 取組結果

- スポーツイベントでの連携実績
 - ・くまとりロードレース【中止】
 - ・町民応援デー（セレッソ大阪：政策企画課、広報公聴課、産業振興課）

■ 今後の課題・方向性

- 庁内関係部局と連携しながら、イベント等の内容充実を図る。

■ 決算額（単位：千円）

- 連携に伴う予算は伴わない。

4. 図書館サービスの充実

教育方針目標

地域を支える情報拠点として、新鮮で適切な蔵書構成の維持に努めるとともに、誰もが読書に親しめる環境づくりを推進する。また、多様な学習活動機会の提供に努め、住民の自主的な活動を支援する。

子どもの読書活動については、平成27年度策定の「熊取町第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、読書環境を整備する。

① 学習機会の提供

取組概要

まちの情報拠点として、新鮮で適正な蔵書構成を維持するとともに、熊取町に関するさまざまな資料を収集・整理し、必要な情報を住民に提供する。

取組結果

●資料の購入数・蔵書数

	H29	H30	R1
図書購入数	8,567 冊	8,223 冊	8,401 冊
蔵書数	368,868 冊	366,151 冊	369,210 冊
視聴覚資料購入数	98 点	100 点	103 点
蔵書点数	10,690 点	10,773 点	10,875 点
雑誌購入タイトル数	150 誌	145 誌	144 誌
新聞購入タイトル数(官報含む)	10 紙	10 紙	10 紙

●館内の特集展示は、住民への情報提供や貸出につながるようさまざまなテーマで企画した。地域のお店コーナーを新設し、月替わりでお店のPRと関連図書を展示するなど、他部署や地域の活動団体等との連携による展示を幅広く実施した。

●書庫見学ツアーは、ゴールデンウィークには特別企画「書庫探検」として書庫見学だけでなく日替わりで内容を変えて実施し、2月には蔵書特別整理期間前特別企画「一般書庫開放」として開催時間等を拡大し、多くの参加があった。

	H29	H30	R1
館内特集展示回数	233 回	258 回	292 回
書庫見学ツアー	11 回・35 人	10 回・93 人	18 回・199 人

今後の課題・方向性

- 地域資料を含めた幅広い分野の資料の体系的な収集に取り組む。
- インターネットを通じた情報発信の向上に取り組む。
- 時代に即した機器等の導入や地域資料の情報化を進める。

決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
図書館運営事業（図書費、資料等購入費）	13,664	13,197	13,768
図書館運営事業（システム賃借・保守料）	6,620	6,620	6,641

②学習環境の整備

取組概要

- あらゆる人が居心地よく過ごせるよう環境整備を行うとともに、計画的に施設改修を行う。
- 誰もが読書に親しめるよう町内全域にいきわたる図書館サービスの構築や利用が困難な人に向けた図書館サービスに取り組む。

取組結果

●サービス指標

	H29	H30	R1
個人貸出冊(点)数	373,393 冊	363,387 冊	334,279 冊
住民 1 人当たりの貸出数	6.67 冊	6.57 冊	6.11 冊
予約受付件数	26,317 件	25,752 冊	27,631 冊
レファレンス件数	8,514 件	7,219 件	7,115 件

- 泉南地域図書館の相互利用に関する協定書の締結により、同地域在住の人は地域内の全公共図書館（室）が利用可能になった。
- 町内大学との連携においては、資料の相互貸借、観光大学教員による「旅コーナー」の図書紹介、医療大学教員による健康講座を実施した。
- 高齢者を対象とした行事
利用の約 3 割を占めるシニア層に向けた行事を充実させ、多くの参加があった。

行事名	H29	H30	R1
シニアコンサート	1 回・68 人	1 回・77 人	1 回・82 人
あたまイキイキ音読教室	6 回・77 人	6 回・79 人	5 回・70 人
健康講座・座談会	13 回・280 人	17 回・286 人	15 回・288 人

- 図書館への来館が困難な方へのサービスとして、駅下にぎわい館での予約受取りサービスや、町内の社会福祉施設や子どもの読書活動に関わる団体などへの団体貸出やリサイクル資料の譲与を行い、また、地域への出前講座を行った。間接的に図書館を利用する機会が増えている。

	H29	H30	R1
駅下にぎわい館貸出冊数	4,360 冊	4,510 冊	4,328 冊
団体貸出	59 団体 18,653 冊	61 団体 24,376 冊	52 団体 25,147 冊
リサイクル図書譲与 ※リサイクルブック実行 委員会への譲与分は除く	34 団体 2,097 冊	35 団体 2,770 冊	36 団体 1,833 冊
出前講座(井戸端セミナー)	38 回・953 人	29 回・588 人	29 回・561 人

- 中高生に向けた YA サービス*では、利用促進のために、図書リスト（新着や映像化など）の作成や図書のテーマ展示により PR したほか、町内 4 中学校（大体大浪商

中学校を含む)の学校図書館を通して本のPOP*を募集し、紹介本と一緒に展示した。また、町立中学校の図書委員会交流会(24人)を図書館で実施し、意見交換を行った。

■ 今後の課題・方向性

- 利用者のニーズ等を踏まえながら、館内レイアウトを見直したり、見やすい・探しやすい館内サインの工夫をするなど、環境づくりに取り組む。
- 障がい者の利用促進に向けた基礎的な環境整備を計画的に実施していく。
- 図書館に遠い地域の住民や若い世代・現役世代の利用促進策について検討する。

■ 決算額(単位:千円)

事業名	H29	H30	R1
図書館施設管理事業	23,961	24,251	20,654
図書館運営事業(図書費、資料等購入費)(再掲)	13,664	13,197	13,768

③子どもの読書環境の整備

■ 取組概要

「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、住民団体や関係部局と連携し、生まれる前から切れ目のない子育て支援を通じて、子どもの読書環境を整備する。

■ 取組結果

- 子どもの読書活動を支える体制づくり推進のため、住民団体・関係機関と合同で研修会及び講演会を開催した。
- 家庭・地域・保育所(園)文庫への団体貸出や子育て支援者向けの研修会を実施することで地域の読書活動を支援した。
- 乳幼児期・幼児期における子育て支援事業は、住民団体等と連携しながら、子育ての中で本を活用できるよう、乳幼児とその保護者を対象としたさまざまな事業を開催した。

事業名	H29	H30	R1
ブックスタート*(4か月児)	12回 297人	12回 287人	11回 268人
あかちゃんの時間(0歳児)	10回 245人	9回 140人	9回 251人
親子でリトミック(0歳・1歳・2歳児)	25回 755人	24回 569人	20回 485人
親子であそぼう!(1~2歳児)	4回 67人	4回 55人	—
3歳6か月児の図書館案内	12回 338人	12回 353人	11回 292人
コンサート(マティ&ママ、クリスマス)	3回 124人	4回 189人	3回 98人

- 保育所(園)・認定こども園・幼稚園へ「こぐま便」(年2回本の配達)等の団体貸出を行った。

事業名	H29	H30	R1
こぐまタイム*・おはなし会*・ かみしばいの会	79回 1,149人	78回 1,045人	72回 974人
子ども1日図書館員	2回・16人	2回・16人	2回・15人
夏休みクイズラリー	321人	321人	387人
町民文化祭子ども対象事業	3行事 124人	3行事 92人	3行事 99人
熊取文庫連絡協議会主催事業	2行事 96人	1行事 43人	1行事 68人
コミュニティ助成事業	—	4行事・511人	—
その他子ども対象事業	12回 585人	22回 716人	10回 397人

- 学校図書館へ団体貸出(10,753冊)、予約(1,982件)、レファレンス(192件)、学校図書館司書の研修会等の支援を行った。また、教師・司書教諭・学校司書を対象に学校図書館を活用した授業・読書活動をテーマとした「学校図書館研修会」を開催した。
- 小学3年生の図書館見学で、全生徒(393人)に読書通帳を配布し、読書活動の推進を図った。
- 小学生対象応募型事業は、学校を通して募集し、夏休みの図書館利用につながった。

事業名	H29	H30	R1
わたしの好きな本を紹介します	338人	291人	257人
図書館を使った調べる学習コンクール	295人	327人	306人

- 障がいのある子どもへの読書支援として、町主催の療育事業及び支援学級・放課後等児童デイサービスへの団体貸出、大型紙芝居・リトミックの催しや「くまとり井戸端セミナー」の出前講座を実施した。

■ 今後の課題・方向性

- 子どもたちが生涯にわたって豊かに生きる力を育むための読書活動を推進する。
- 学校図書館支援センターとしての機能の充実を図る。
- 障がいのある子どもの読書環境の整備に努める。

■ 決算額(単位:千円)

事業名	H29	H30	R1
図書館ふれあい事業(子どもの事業関連謝礼金、委託料)	253	222	78
読書活動推進事業(読書通帳除く)	408	955	485

※H30 読書活動推進事業は一般財団法人自治総合センターからの助成金により
コミュニティ助成事業を実施したため増額となった。

※R1 ふれあい事業は、事業変更及び3月開催予定行事の中止があったため減額となった。

④ 自主活動の支援

取組概要

- 住民団体等との共催・協力による事業やボランティアからの企画提案による事業を実施したり、参加型の事業の開催により個人の活動成果を発表する場を提供している。
- 図書館の施設や備品を活用し、住民の自主的な活動を支援する。

取組結果

- 図書館において、様々な文化事業を開催した。住民等との協働事業については、住民から企画提案のあった健康や医療、終活等をテーマにした講座等を開催した。

	H29	H30	R1
講座・講演会 *一部再掲	16回・452人	22回・451人	20回・538人
コンサート*一部再掲	6回・463人	4回・357人	4回・403人
その他	17回・987人	17回・983人	14回・1,015人

※子育て支援事業・子ども対象事業・書庫見学ツアー・そとみせを除く。

- 図書館の施設を活用し、住民の自主的な学習活動を支援した。

事業名	H29	H30	R1
会議室等利用団体数	53団体	54団体	50団体
会議室稼働率	43.9%	46.4%	39.1%

今後の課題・方向性

- 住民の知的関心に応えられるよう、住民・住民団体等と連携しながら、文化事業を開催する。
- 住民活動を活性化するために、活動内容の発信や新たな担い手の発掘など、団体の支援を行う。

決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
図書館ふれあい事業（子どもの事業除く）	238	263	269

⑤ 地域連携の推進

取組概要

地域活動の拠点の一つとして、各種団体等との連携により事業を実施し、住民の交流の場を設ける。

取組結果

- 住民団体や関連機関等（28団体）との協働により、さまざまな事業等を実施した。
- 図書館の屋外スペースを活用して活動のPRや地域の交流を目的とする「そとみせ」は、ひまわりカフェ（関西医療大学を含むグループ）や熊取ボランティア連絡会に

よるボランティアフェスティバルなど、合計2回開催した（参加人数計314人）。

■ 今後の課題・方向性

住民や団体が情報交換する機会の創出や、共通の課題に取り組む団体のネットワークづくりに取り組む。

■ 決算額（単位：千円）

予算を伴わない。

⑥推進体制の整備

■ 取組概要

- 庁内関係部署と連携し、事業等を実施する。
- 司書の専門性向上のため専門的な研修等を実施する。
- 図書館協議会を定期的に開催し、図書館運営に関する意見交換を行う。

■ 取組結果

- 子育て支援に関する連携の他、住民への啓発・PRを目的に関係部署と連携した展示等を実施した。
- ゆうゆう大学講座に関連図書の出借を行い、講座修了後は、図書館に特設コーナーを設け、講座生及び来館者の利用に供した。
- 図書館協議会から「これからの熊取町立熊取図書館の管理運営のあり方について（提言）」の検証についての答申を受け、今後の方針を検討した結果、指定管理者制度を導入しないことを行政改革審議会に報告した。

■ 今後の課題・方向性

- 関係部局との連携強化や職員のスキルアップ等により、図書館サービスの向上に努める。
- 図書館協議会で図書館が抱える課題についての議論を深め、図書館サービスや業務の改善・向上に活かす。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H29	H30	R1
図書館運営事業（図書館協議会委員報酬）	194	194	140
図書館運営事業（研修旅費）	20	27	26

Ⅲ. 教育委員会の組織・活動状況

教育委員会の組織

➤ **組織**

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、生涯学習、教育、文化、スポーツ等の幅広い施策を展開しています。

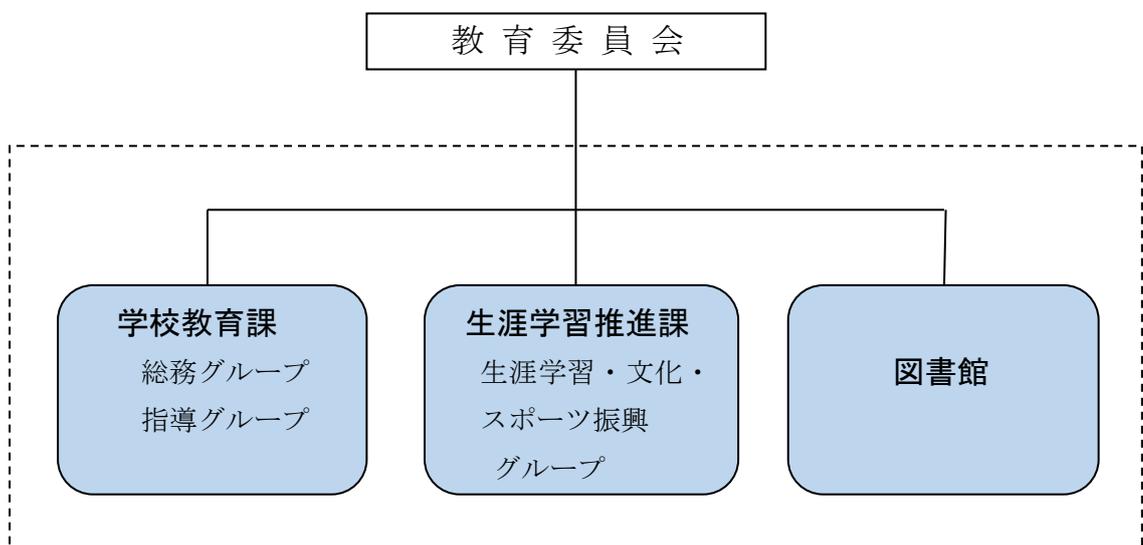
➤ **構成**

教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成されています。教育長は教育行政に関し識見を有する者のうちから、委員は教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、それぞれ議会の同意を得て町長が任命します。

➤ **教育長・教育委員（令和元年度）**

氏名	職務	在任期間
勘六野 朗	教育長	平成28年 4月1日～令和 3年3月31日
梶山 慎一郎	委員(教育長職務代理者)	平成28年 4月1日～令和 元年9月30日 令和 元年10月1日～令和 5年9月30日
松井 みゆき	委員	平成28年10月1日～令和 2年9月30日
土屋 裕睦	委員	平成29年10月1日～令和 3年9月30日
鈴木 直子	委員	平成30年10月1日～令和 4年9月30日

➤ **教育委員会事務局組織図**



教育委員会の活動状況

委員構成

- 4月～9月：梶山委員、松井委員、土屋委員、鈴木委員
- 9月末：梶山委員任期満了
- 10月：梶山委員再任
- 10月～：梶山委員、松井委員、土屋委員、鈴木委員

教育委員会定例会（・臨時会）の実施

毎月1回の教育委員会定例会等を開催し、議事採択を行っています。

- 実施日：4月5日、5月8日、6月11日、7月9日、8月9日、9月2日、10月7日、11月6日、12月2日、1月8日、2月7日、3月13日、3月27日

令和元年度第1回総合教育会議参加（8月9日）

令和元年度における教育活動について、町長、教育長と全教育委員が様々な意見交換を行いました。

町立学校視察（北小：1月28日、東小：2月4日）

町立学校を全教育委員が視察しました。

懇談会の実施

- 町長・副町長に全委員が平成30年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について報告し、懇談を行いました。（8月9日）
- 町立小学校の校長・教頭と学校の教育活動について全委員が懇談を行いました。（7月31日）
- 総務文教常任委員会委員と学校の教育活動について全委員が懇談を行いました。（1月8日）

泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会への参加

（全4回：5月20日、5月28日、7月11日、7月22日）

熊取町の小・中学校が令和2年度に使用する教科書の選定会議へ松井委員が出席し採択を行いました。

研修会への参加

- 令和元年度大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会及び研修会（5月29日）に松井委員、鈴木委員が出席しました。
- 令和元年度泉南地区教育委員会連絡協議会（8月22日）に梶山委員が出席しました。
- 令和元年度泉南地区教育委員研修会（10月23日）に松井委員、鈴木委員が出席しました。
- 令和元年度大阪府市町村教育委員会研修会（10月28日）に松井委員、鈴木委員が出席しました。

行事への参加

- 町立学校入学式（小学校：4月5日、中学校：4月4日）への出席
 - ・中央小学校の入学式に鈴木委員が出席しました。
 - ・西小学校の入学式に土屋委員が出席しました。
 - ・北小学校の入学式に梶山委員が出席しました。
 - ・東小学校の入学式に松井委員が出席しました。
 - ・熊取中学校の入学式に土屋委員、松井委員が出席しました。
 - ・熊取北中学校の入学式に鈴木委員が出席しました。
- 小学校運動会（6月1日）、中学校体育大会（9月27日）に全委員が出席しました。
- 町民総合体育大会総合開会式（9月8日）に全委員が出席しました。
- 成人式（1月12日）に全委員が出席しました。
- 町立学校卒業式（小学校：3月18日、中学校3月13日）への出席
 - ・西小学校の卒業式に松井委員が出席しました。
 - ・北小学校の卒業式に鈴木委員が出席しました。
 - ・東小学校の卒業式に土屋委員が出席しました。
 - ・熊取中学校の卒業式に土屋委員が出席しました。
 - ・熊取南中学校の卒業式に松井委員が出席しました。

令和元年度（平成31年度）教育委員会会議案件等一覧

《議案》

提案月	号	議案	提案結果	内容
4月	1	後援名義使用願の承認について【第46回近畿ろうあ者体育大会in大阪】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
5月	2	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の臨時開館について	原案可決	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の保守点検等のため、総合体育館条例第13条ただし書により、令和元年7月23日（火）、30日（火）、8月6日（火）、13日（火）、20日（火）、27日（火）を臨時に開館する。
	3	後援名義使用願の承認について【第64回大阪府小学校・第62回大阪府中学校 音楽教育研究会 泉南大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
	4	平成32年度小学校使用教科用図書選択に係る泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会の設置および協議会規約等への同意について	原案可決	義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条、第13条第4項及び第5項の規定により平成31年度の小学校で使用する教科書採択に泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会を設置し、規約等へ同意するとともに、同協議会の採択結果を尊重するもの
	5	平成32年度小学校使用教科用図書選択に係る泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会委員の選任について	原案可決	泉南郡小学校、中学校教科用図書選択協議会規約8条に基づく委員の選任について、協議し、決定するもの
6月	6	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの。 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第4号）について※ただし、教育の事務に関する部分
7月	7	後援名義使用願の承認について【さのドラDAY さのドラのじてんしゃ交通安全教室】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
	8	後援名義使用願の承認について【第57回大阪府小学校社会科教育研究会 泉南大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
8月	9	平成30年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について	原案可決	教育委員会が平成30年度に行った活動について、自己点検・評価したもの。
	10	令和2年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について	原案可決	令和2年度に、町立小・中学校で使用する教科書を採択するもの。
	11	後援名義使用願の承認について【以武会友・第1回大阪国際武術太極拳交流大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
9月	12	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの。 1. 町立小・中学校の校務用パソコンの購入について 町立小学校給食用備品の購入について 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第6号）について※ただし、教育の事務に関する部分
	13	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の臨時休館日について	原案可決	住民の方々の利便性の向上および体育館の有効活用をはかるため、総合体育館条例第13条ただし書により、臨時休館日の承認を求めるもの。
	14	後援名義使用願の承認について【第49回大阪府人権教育研究泉南大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
	15	後援名義使用願の承認について【日本アダプテッド体育・スポーツ学会第24回大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。

10月	16	後援名義使用願の承認について【全国小学校集会・特別支援教育集会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
	17	「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 熊取町の分析結果」について	原案可決	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析結果を「平成30年度 全国学力・学習状況調査 熊取町の結果」としてまとめるもの。
	18	後援名義使用願の承認について【第1回 ふれあいサッカーフェスティバル】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
11月	19	府費負担教職員勤務時間等規則の一部を改正する規則について	原案可決	大阪府の「府立高等学校等の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則」の一部改正にともない町規則の改正を行ったことを報告するもの。
12月	20	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの。 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第7号）について※ただし、教育の事務に関する部分
1月	21	後援名義使用願の承認について【シニアウインターカップin大阪】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
	22	令和2年度 全国学力・学習状況調査について	原案可決	令和2年度全国学力・学習状況調査の参加について承認を求めるもの。
	23	後援名義使用願の承認について【第34回 泉州地区柔道大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの。
3月	24	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの。 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第10号）について※ただし、教育の事務に関する部分 1. 令和2年度熊取町一般会計補正予算（第1号）について※ただし、教育の事務に関する部分
3月臨時	25	スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決	スポーツ推進委員規則第4条の規定に基づく委員を委嘱するもの。
	26	教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則について	原案可決	令和2年4月より新たに会計年度任用職員制度を創設するため、関係規則を改正する必要があることから、所要の改正を行うもの。
	27	令和2年度熊取町教育方針について	原案可決	令和2年度熊取町教育方針を定めるもの
	28	教育委員会評価委員会委員の委嘱について	原案可決	教育委員会評価委員会規則第3条の規定に基づく委員を委嘱するもの。
	29	令和元年度末・2年度当初小・中学校校長・教頭の異動について	原案可決	令和元年度末・2年度当初小・中学校校長・教頭の異動について承認を得るもの。
	30	令和2年度当初教育委員会事務局職員の異動について	原案可決	教育委員会事務局職員の異動について承認を得るもの。

令和元年度（平成31年度）教育委員会会議案件等一覧

《報告》

報告月	号	報 告	結 果	内 容
4月	1	町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について	承認	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第13号） ※ただし、教育の事務に関する部分 2. 平成31年度熊取町一般会計補正予算（第1号） ※ただし、教育の事務に関する部分
	2	平成31年3月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	平成31年3月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの 1. 平成31年度熊取町一般会計予算 ※ただし、教育の事務に関する部分 1. 工事請負契約の締結（熊取町立熊取南中学校校舎等屋根災害復旧工事） 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第12号） ※ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第13号） ※ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成31年度熊取町一般会計補正予算（第1号） ※ただし、教育の事務に関する部分
6月	3	社会教育委員委嘱の専決処分報告について	承認	社会教育法第15条第2項の規定に基づく委員を委嘱するもの
	4	青少年問題協議会委員委嘱の専決処分報告について	承認	青少年問題協議会規則第3条第2項の規定に基づく委員を委嘱するもの
7月	5	令和元年6月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	令和元年6月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの。 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第4号） ※ただし、教育の事務に関する部分
	6	青少年問題協議会委員委嘱の専決処分報告について	承認	青少年問題協議会規則第3条第2項の規定に基づく委員を委嘱するもの
10月	7	令和元年9月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	令和元年9月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの。 1. 町立小・中学校の校務用パソコンの購入について 町立小学校給食用備品の購入について 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第6号）について ※ただし、教育の事務に関する部分
12月	8	令和元年12月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	令和元年12月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの。 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第7号）について ※ただし、教育の事務に関する部分
3月	9	町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について	承認	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 令和元年度熊取町一般会計補正予算（第9号） ※ただし、教育の事務に関する部分
	10	町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について	承認	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 令和2年度熊取町一般会計予算について ※ただし、教育の事務に関する部分
	11	新型コロナウイルス感染症対策による社会教育施設の臨時休館の専決処分報告について	承認	新型コロナウイルス感染症対策により公民館、町民会館、教育・子どもセンター、熊取交流センター、総合体育館、熊取図書館を臨時休館したことを報告するもの。
3月臨時	12	新型コロナウイルス感染症対策による社会教育施設の臨時休館（延長）の専決処分報告について	承認	新型コロナウイルス感染症対策により公民館、町民会館、教育・子どもセンター、熊取交流センター、総合体育館、熊取図書館を臨時休館を延長したことを報告するもの。

資料編 用語説明

用語	解説
【ア行】	
インターンシップ	大学との連携による学生の教育現場での教職業務の観察・補助等の実習
おはなし会	熊取図書館において、毎月第2・4土曜日午後2時半から開催している5歳以上対象のおはなし(素話・ストーリーテリング)を中心とした行事
【カ行】	
学習支援ボランティア	児童生徒に、個に応じたきめ細やかな指導・支援をおこなうための地域の多様な人材によるボランティア。熊取町に配置している多くは、教員をめざす大学生である。
学校防犯システム	全小・中学校の校門(通用門を含む)に設置したセンサーと児童が携帯するICタグを使って、登下校の状況をパソコンで把握すると同時に、ビデオカメラによって校門の状況を常時職員室のモニターに表示し、記録するシステムである。(平成22年7月発足)
CAPプログラム	CAPとは、Child Assault Preventionの略である。子どもがあらゆる暴力(虐待、いじめ、誘拐、痴漢など)から、自分を守るために何ができるかを学ぶプログラム
教育課程	学校教育の目的や目標を達成するために教育の内容を児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画
教育相談コーディネーター	熊取町と熊取町教育委員会が設置者となり、町民や教育関係者の相談希望者を専門のカウンセラーにつなぐ役割を担う者
郷土資料のデジタルアーカイブ化	文化芸術分野・図書館分野が保有・管理する郷土資料を電子データ化し、そのデジタル資料をインターネット等で公開・活用する。
くまとり井戸端セミナー	町職員が住民の主催する集会や学習会に出かけ、町の事業や施策について説明し、住民と町職員がともに「まち」について学ぶ制度 開催費用は無料。10名以上の団体であれば利用可
くまとり人材バンク	優れた特技や技能をもった方を登録し、自治会等の活動で講師が必要な時に派遣する制度 講師謝礼は無料。10名以上の団体であれば利用可
くまとり地域教育協議会	学校・家庭・地域がそれぞれできることを持ち寄り、三者が一体となって子どもを育てる取り組みとして、平成14年10月に中学校区単位で立ち上げ。地域の子どもは地域で育てる、という「教育コミュニティづくり」を推進する。
熊取町指定文化財	「熊取町文化財保護条例」に基づき、国の文化財保護法、大阪府文化財保護条例の規定による指定を受けた文化財以外で町内に存するもののうち、教育委員会が指定した重要な文化財のことをいう。現在、「熊取神踊り用具」の締太鼓など10件を指定している。
熊取町文化振興連絡協議会	公民館において活動するクラブの親睦と連絡調整を図り、クラブ運営の研究を深めるとともに、よりよい社会人を創造し、人間尊重の明るい町づくりを推進することを目的とした社会教育団体

用語	解説
くまとりドキドキ博物館	大阪ミュージアム構想の実現と継続的な展示物の活用を目的としたイベント 平成21年に重要文化財中家住宅において、講談や歴史講演会などを開催した。運営はくまとりドキドキ博物館実行委員会が行った。
熊取ゆうゆう大学	平成15年秋プレ開学、平成16年本開学した。様々な内容を少しずつ体験する講座の「体験倶楽部」、一つの内容をじっくり学ぶ講座の「教養倶楽部」、主体的な学びへステップアップする「ゆうゆう倶楽部」で構成する町民大学 町内大学との連携講座や、社会福祉協議会、庁内関係課との連携講座も開設
こぐまタイム	熊取図書館において、毎週土曜日午前11時から開催している2～5歳対象の絵本の読み聞かせと手遊びを楽しむ行事。
【サ行】	
指定管理者	経費の節減とサービスの向上を目的として、地方公共団体が公共施設の管理をおこなわせるために、期間を定めて指定する団体。財団、社会福祉法人等の他、民間企業も参加できる。地方自治法第244条の2第3項 指定管理者に公の施設の管理を行わせることができる。
重要文化財中家住宅	五門にある江戸初期に建てられた岸和田藩の大庄屋中家の建物。昭和39年5月29日、国指定の重要文化財となった。町所有であり、平成9年から一般公開している。
首席	各学校において校長の命を受け、担当する校務に関して教職員のリーダーとして組織を円滑に機能させるとともに、担当校務を着実に遂行していく上で、他の教職員に対して、必要な指導・総括にあたる者 また、首席は担当校務に関する事項を指導・総括し、学校運営において、(1)意思決定支援、(2)経営・調整、(3)相談支援、(4)渉外・広報、(5)人材育成の職責(機能)を担う。 学校教育法第37条第2項 主幹教諭(大阪府では首席)を置くことができる。
首長部局	首長とは、行政機関の長(知事・市町村長)をいい、首長部局は行政機関の内部組織を指す。(教育委員会は、首長から独立した行政委員会である。)
スポーツリーダーバンク	住民のスポーツやレクリエーション活動の際に必要な指導者の要請や、学校教育における運動部活動に必要な専門的技術指導者の要請などに対してスポーツ指導者の紹介・派遣をおこなう事業
【タ行】	
大活字本	弱視者や高齢者が読みやすいよう大きな活字で印刷した本
【ハ行】	
ブックスタート	図書館、健康課、熊取文庫連絡協議会が連携し、4ヵ月健診時に「子どもと、絵本を通してのふれあいとコミュニケーションの大切さ」を伝えブックスタートパック(絵本・子育て情報)を渡す事業
放課後こども教室	本町では、「くまとり元気広場」という。 放課後や週末に、子どもが安全に安心して遊べる「子どもの居場所」づくりを指す。 現在、煉瓦館や長池公園等で4広場を開設し、地域の多様なボランティアの協力を得て、様々なあそびやスポーツ、野外活動、放課後学習などを実施
POP(ポップ)	POP広告(Point of purchase advertising)のことで、主に商店などで用いられる販売促進のための広告媒体。図書館においては、おすすめしたい本を、相手に興味を持ってもらえるように簡単な文章やイラストで紹介したもの。

用語	解説
【マ行】	
ミドルリーダー	「学校のビジョン構築への参画と教育活動の推進」「職場の活性化」「同僚教員の指導・育成」「学校外部との折衝・対応」などの役割を担う中堅教職員
【ヤ行】	
要保護・準要保護児童生徒	生活保護を受給している世帯及びそれに準ずる世帯の児童・生徒
【ラ行】	
レファレンス	図書館で司書が行う調べ物などの相談を受ける業務
【ワ行】	
YAサービス	10代の子どもたちを対象とした図書館サービス。熊取町では、一般閲覧室内に専用のコーナーを設置し、中高生に関心があるテーマの展示をしたり、図書リストを発行したり、利用促進を図っている。